

2 安全上の注意事項

オブティカット200は、最新の工業規格に準拠して設計されておりますが、本機の運転やメンテナンス、修理作業を安全に実施していただくために、本機特有の注意事項があります。

本機を安全にご使用頂くため、すべての安全上の注意事項に従って下さい。この章にある安全上の注意事項を補足するために、他の各章でも警告マークを伴う具体的な詳細説明が記載されています。これらの警告マークは、オペレーターや第三者のケガ、または機械の損傷を未然に防ぐための取るべき手段を説明しています。必ず、オブティカット200の取扱説明書の安全上の注意事項に従って下さい。

もし、本機を操作する上で、故障が起こった場合は、文書にて速やかに弊社にお知らせ下さい。

DKSHジャパン株式会社

〒657-0854 神戸市灘区摩耶埠頭

Tel. 078-871-7481

Fax 078-871-7488

2.1 使用目的

OptiCut200は、産業用の自動クロスカットソーです。本機の使用目的は、本取扱説明書にあるテクニカルデータに指定された範囲の、異物を含まない木材、または木質系素材を切断することです。

使用目的の定義には、試運転時にメーカー側から指示された運転・メンテナンスに関する条件に従うことや、予見しうる故障に配慮したりすることも含まれます。使用目的から外れる運転は絶対に禁止されています。もし使用目的以外の使われ方をされ、それに起因する損害が発生した場合は、メーカー側、販売代理店側は一切の責任を負いかねます。オペレーターの作業場所や必要人数は、据付図面を参照ください。

投入コンベアの両側にマーキングテーブルを取り付けた状態で本機をご使用ください。（少なくとも1mの長さのマーキングテーブルを装備してください）

2.2 運転を始める前に

- 本取扱説明書をオブティカット200の近くに保管して、いつでも参照できるようにして下さい。
- 本機に関わる全てのオペレーターは運転を開始する前に、本取扱説明書を熟読して内容を正しく理解しておいて下さい。
- オペレーターは、本機の付属品に添付された説明書にも必ず目を通し、記載内容に従って下さい。
- 安全上の注意事項と安全のための事前対策、及び、地域で定められた事故防止のための一般法令やその他の拘束力のある規則には、必ず従って下さい。
- オペレーターは、常日頃から安全に注意して作業を行っているかチェックを行って下さい。

2.3 管理者の責任

本機に関わるすべての作業、操作は、オブティカット200の正しい使用方法の教育と訓練を受けたオペレーターにのみ許可されます。これらの教育・訓練はディムター社のトレーニングセンターで行われます。あるいは、ディムター社または販売代理店のサービス技術者の立ち合いの下、貴社工場内でのトレーニングも可能です。

- 本機のオペレーターには、最新の安全対策に関する情報を周知させ、常に安全規則が守られているか確認して下さい。
- オペレーターの責任範囲を明確にして下さい。機械操作、調整、修理、メンテナンスの責任者を定めて下さい。
- メンテナンスが適正な頻度で行われているか確認して下さい。
- 本機の発する騒音レベルの警標を掲げ、皆に周知してください。
- 防音対策として、法令に則した耳栓を必ず使用して下さい。
- 作業場の照明は、適切な明るさを確保してください。
- 法律上に定められた、作業者の年齢制限を守って下さい。

2.4 オペレーターの責任

機械を適切に運転しないと、回転している部品や鋭い刃物による、指詰め、指や腕の切断、及び、その他の重大な怪我を引き起こす原因につながります。

- 機械の運転中は、指や腕を絶対に機械内部に近づけないで下さい。また、髪の毛や衣類が、機械の可動部に巻き込まれないように細心の注意を払って下さい。
 - 作業資格のない人を機械に近づけないで下さい。
 - 作業服のボタンやファスナーはしっかり留めてください。
 - 作業中、腕時計や指輪・ネックレスなどのアクセサリーは取り外してください。
 - 髪の毛の長い方は、後ろで束ね、帽子を着用してください。
 - 機械の作動中、または、停止後であっても安全装置を作動させていない場合は、コンベアにさわらないで下さい。
 - 同じく、機械の作動中、または、停止後であっても安全装置を作動させていない場合は、コンベアの上に乗ったり、またがったりしないで下さい。
 - 故障した場合は機械を完全に停止させ、メインスイッチを切り、不意に電源が入らないよう警標を掲げてください。そして、速やかに責任者に報告して修理して下さい。
 - オペレーターが機械の側を離れるときは、必ずメインスイッチを切ってください。
 - 機械の電源が入っている間は、カuttingエリア内にある部材を取り除かないでください。
- 最初に、電源を切ってから、作業を行ってください。
- 安全規則に反するサード・パーティの指示には絶対に従ってはいけません。

2.5 安全装置

操作上のヒント



ト

オブティカット 200に搭載された安全装置を取り外したり、バイパス回路を作り機能を停止させたり、改造したりしないで下さい。

- ➔ 次の場合、オブティカット200の運転を始める前に、全ての安全装置と非常停止ボタンが正常に機能するか確認して下さい：
 - ➔ - 毎日、またはオペレーターの交代ごと。
 - メンテナンスや修理後。
 - 据付・試運転後。
 - 長期間停止した後の運転再開前。
- ➔ 駆動部のスイッチを入れる前に、全ての安全装置や保護カバーが正しく設置されている事を確認して下さい。
- ➔ メンテナンスや修理作業、または長期間機械を停止させるためなどで、安全装置を取り外した場合は、機械を再始動する前に、必ず安全装置を元の状態に戻して下さい。
- ➔ 機械の電源を完全に停止する場合や、オブティカット200を長期間使用しない場合でも、全ての安全装置と保護カバーは正しく機能する状態で所定の場所に取り付けておき、すぐに運転が再開できる状態にしておいて下さい。

非常停止スイッチ

本機には、緊急停止ボタンが備わっています。危険を察知したら、このボタンを押して機械を即座に停止させることができます。



緊急停止が作動した場合：

- 操作電圧がオフになります。
- 投入装置が止まります。
- ノコのモーターが停止します*



メインスイッチがオフの場合：

- 操作電圧がオフになります。
- 投入装置が止まります。
- ノコのモーターが停止します*

*モーターブレーキにより停止します。完全に停止するまでの時間は10秒以内でなければなりません。

前面保護カバー 機械可動部への接触による危険から保護します。保護カバーが開いている時は、リミットスイッチが機能して、機械の運転は出来なくなります。

背面保護カバー 機械可動部（送りベルト等）への接触による危険から保護します。保護カバーが開い

ている時は、リミットスイッチが機能して、機械の運転は出来なくなります。

ノコカバー

ノコ部の前部ドアが開いている時は、リミットスイッチが機能して、機械の運転は出来なくなります。

2.6 安全な運転について

- オプティカット200の運転時は、常に防護メガネや耳栓を着用して目や耳を保護して下さい。詳しくは、9.6 "騒音レベル" を参照ください。



- 騒音レベルは、EN 23741 による通常の作業環境下に従って計測されたものです。
- 実際の騒音レベルは次の要因により変化します：
 - 刃物の回転速度
 - 刃物と機械のメンテナンス状態
 - 加工材料
 - 生産環境

オプティカット200は、最新の技術に基づき、事故防止規則を考慮して設計されています。しかし、誤った扱い方をすると、オペレーターまたは周囲の方の人体への傷害を招いたり、周辺設備にダメージを与えたりする危険性をはらんでいます。

➔ 本取扱説明書の安全規則と同様に、一般的な事故防止規則にも必ず従ってください。

2.7 レーザー装置 (オプション)



注意: レーザー光

レーザー光を直接覗き込まないでください。EN 60825(07/94)準拠のレーザー クラス2

次の安全対策に必ず従ってください。

- ➔ メーカーへの相談なしに、異なる形式のレーザーを代用しないでください。
- ➔ レーザーの故障は、メーカー側で行います。
- ➔ どんな場合でも、レーザー光を覗き込んではいけません。このことは、全てのオペレーターに周知させなければなりません。
- ➔ 光学系の付属品は使用できません。

詳細データは、9.5"レーザー装置(オプション)" を参照。

2.8 電気回路における作業

電気回路に関わる作業は、資格のある電気技師により、電気に関する法令に基づいて行われる必要があります。



注意

感電の危険性

配線のゆるみや誤った配線により、本機の安全性は損なわれます。

- オプティカット200は、9.3章に記載の通りの周波数、電圧、電流の環境下でのみ運転が可能です。
- 定期的に電気回路のチェックを行い、欠陥箇所は直ちに修理して下さい。
- 指定された電流値の純正ヒューズを使用して下さい。

電気回路に関する作業を実施する前に、操作電圧をオフにして、配電盤から該当するヒューズを取り外して下さい。

- 配電盤の上に不意に電源が入らないよう警標を掲げてください。
- メインスイッチを切り、不意に電源が入らないようメインスイッチを施錠するなどして固定してください。



操作上のヒント

2名以上でオプティカット200の作業を行う場合は、連絡を密に取り合い、各担当者は各々の錠前でメインスイッチを施錠し、不意の通電による事故を防いでください。そして、全員のメンテナンスや修理作業が完了したのを確認の上、施錠を取り外してください。

- テスターを使い、機械が通電していないことを確認してください。

接続装置

- 最初に必ずアース線（緑色－黄色）を接続して下さい。
- 電装品やソケットを追加する場合は、必ずメインスイッチの後側に接続して下さい。

電気作業の完了後

- 電装品の取り付けや修理が終わったら、機械を始動する前には必ず、安全装置が正しく機能するかテストして下さい。
- メインスイッチの施錠や警標を取り外してください。

2.9 集塵装置

オプティカット[®]を集塵効率の良い集塵機に接続してください。また、集塵機を運転させてから、オプティカット[®]を運転してください。集塵に関するデータは、据付図面を参照ください。



重要

難燃性の集塵ホースを使用してください。また、必要に応じてアース接続を行ってください。

電気接続

保護回路や操作電圧については、配線図を参照ください。



機械を一次側電源に接続する際は、機械のスイッチを入れると、自動的にお客様準備の集塵機のスイッチがオンになるよう接続することをお勧めします。配電盤内の既存の補助接点を使って、この電気回路を構築できます。

2.10 エア回路における作業



重要

メインスイッチをオフにしても、コンプレッサーからのエア供給は遮断されません。

- エア回路の作業を実施する前には、必ずコンプレッサーとの接続を遮断し、エア圧を減圧してください。



- エア回路に関わる作業は、資格のある電気技師か、有資格者の監督下で教育を受けた者により、関連の法令に基づいて行われる必要があります。
- エア漏れや損傷がないか、定期的に全てのライン、ホース、ネジ止めの接続をチェックして下さい。
- 回路に損傷を発見したら速やかに修理して下さい。
- 作業終了後には、エア回路に適切な圧力がかかっているか確認してください。

2.11 設備の改造等における注意事項

- 本機が故障した、またはダメージを被った場合、または、オペレーターの安全を損なうような改造/改変が行われていることが判明した場合は、直ちに機械の電源をオフにしてください。そして速やかに、その旨を責任者に報告して下さい。
- ディムター社製品を本来の目的以外で使用したことに起因するいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- オプティカット200の機械的な改造、または電気回路に関する改造が必要な場合は、必ず事前にディムター社にご相談ください。
- 機械の溶接、溶断、研磨作業等が必要な場合は、必ず事前にディムター社にご相談ください。

これらの作業を開始する前には、機械の周辺からほごりや可燃物質を取り除いて、火事や爆発等が起こらないよう未然に防いで下さい。また、室内が十分換気されているか確認して下さい。

2.12 オプティカット200の廃棄処分

OptiCut200の使用を終え廃棄処分する場合、専門的に解体・分別をした上で、地域で定められた条例に従って廃棄して下さい。

本機または本機の装備品を廃棄する際には、次の点に注意してください：

- 抜き取った オイルやグリスは、地域で定められた条例に従って処分します。
- 金属及び合成材料はリサイクルに回します。
- 電気/電子部品については、指定業者に引き渡し、有害廃棄物のリサイクルに努めてください。

2.13 メンテナンス、修理

- 点検や修理作業は、ディムター社に認可を受けたサービススタッフにご依頼ください。
- メンテナンスや修理は、ディムター社の純正部品を使用下さい。

2.14 保証が適用されない場合

以下の事項が行われた場合、メーカー側/販売側は一切の責任を負いかねます。

- 使用目的を外れた用途でオブティカット200を使用した場合。または、木材・木質系代替材以外の加工を行った場合。
- オブティカット200の安全装置が、正しく設置されていない状態で、または完全に機能していない状態で運転した場合。
- オブティカット200を金属や金属を含む素材の切断を行うために使用された場合。
- 適切な訓練や教育を受けていないスタッフが、オブティカット200を運転した場合。
- 緊急停止装置の機能が無効化されている場合。

2.15 責任の所在

本機の取り扱いに関して、使用目的に反するまたは不適切な使用に起因する損害が発生した場合、メーカーおよび販売代理店は、一切の責任を負いかねます。その場合、本機の所有者・使用者が、その損害に対する責任を負うこととなりますのでご注意ください。